

近畿学校保健学会通信

No.80

平成7年2月1日発行
近畿学校保健学会事務所
〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部健康学研究室内
TEL 0775-37-7795
振替口座 01060-1-77589

第42回 近畿学校保健学会開催の御案内

第42回近畿学校保健学会

学会長 勝 野 眞 吾

兵庫教育大学教授

今年度の第42回近畿学校保健学会を来る6月10日(土)、神戸市の兵庫県民会館を会場として開催させていただきます。詳細は学会開催要項に示してありますが、会場は神戸の元町、あるいは三宮から近く、交通の便の良いところです。

本年度の学会では一般口演に加えて特別講演とシンポジウムを企画いたしました。特別講演では大阪大学微生物病研究所の上田重晴教授から「子どもの病気と予防接種」についてお話をうかがいます。予防接種の意義と安全性、そして昨年10月から実施が始まっている新しい予防接種制度をめぐる問題についてわかりやすく解説していただく予定です。またシンポジウムでは「子どもたちのライフスタイルと健康問題」をメインテーマとして教育行政、教育理論、保健室からの健康指導、および地域の医療・保健・福祉のそれぞれ異なった立場から健康教育に取り組んでおられる4人の気鋭の先生方による御報告と討論を予定しています。ここでは学校を基盤とした健康教育の持つべき視点、カリキュラム、教授方法と評価の問題、保健室を中心とした保健指導と教科としての保健の授業との連携、学校と地域のあり方など、現代の健康教育の最もホットなテーマについて活発な議論がもたれることが期待されます。一般口演では、狭義の「学校保健」ではなく、広義の「学校保健」の立場から、さまざまな分野からの演題の申し込みをお待ちしています。特別講演、シンポジウム、および一般口演を通じて御発表の先生方だけでなく、学会に参加いただいた方々からも積極的に発言していただき、自由な相互批判のための議論を盛り上げていただきたいと思います。

学校保健は次世代を形成する学齢期の子どもたちが主な対象です。その健康問題は学校内だけで解決できることは少なく、地域のコミュニティとの連携、さらにはグローバルな視野をもって対することが必要とされます。また、近年、第一次予防の立場から健康教育(Education of Health)が重視されるようになりました。学校は健康教育が最も有効に機能する場であり、学校保健への期待とその果たすべき役割は以前にもまして大きくなっていると思います。

実りある議論のため、多数の先生方の御参加を心よりお待ちしております。

第42回近畿学校保健学会（平成7年度年次学会）開催要項

1. 学 会 長 兵庫教育大学教授 勝野 眞吾
2. 事 務 局 〒673-14 兵庫県加東郡社町下久米942-1
兵庫教育大学 生活・健康系教育講座
疫学・健康教育学研究室内
第42回近畿学校保健学会事務局
(事務局長 兵庫教育大学助教授 渡邊 正樹)
TEL (兼FAX) 0795-44-2180 (勝野)
0795-44-2178 (渡邊)
振替口座 01170-6-15801
3. 開催期日 平成7年6月10日(土)
4. 会 場 兵庫県民会館
〒650 神戸市中央区下山手通4丁目16の3
TEL 078-321-2131 FAX 078-321-2139
5. 日 程 受付：9:00～15:00
午前：3会場にて一般演題発表
昼休：評議員会
午後：総会
特別講演
「子どもの病気と予防接種」
上田 重晴 先生（大阪大学微生物病研究所教授）
シンポジウム
「子どものライフスタイルと健康問題」
6. 参 加 費 正 会 員 3,000円
(含資料費) 当 日 会 員 2,000円
当日学生会員 1,500円
7. 参加申込 近畿内外を問わず、学会員でなくても、関心のある方の参加を歓迎致します。返信用封筒（宛名および80円切手貼）を第42回事務局宛に御送付いただければ、5月下旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」をお送り致します。
なお一般演題発表者は共同研究者を含めて正会員になる必要があります。会員でない方は、「近畿学校保健学会事務所」に入会手続きをして下さい。
※ 近畿学校保健学会事務所
〒520 大津市平津2丁目8-1
滋賀大学教育学部健康学研究室内
TEL 0775-37-7795、7726
8. 一般演題申込 発表希望者は申込用紙に必要事項を記入の上、平成7年3月17日までに申し込んで下さい。また講演集原稿は切は平成7年4月28日です。
9. 懇 親 会 シンポジウム終了後、県民会館11Fホールにて予定しております。当日受付にてお申し込み下さい。会費は5,000円です。

特別講演およびシンポジウム

○ 特別講演について

【テーマ】 子どもの病気と予防接種

【趣 旨】 わが国では時代とともに疾病構造が変化し、それにともなって予防接種に対する考え方も大きく変わってきました。そして昨年10月、予防接種法が改正されて新しい予防接種制度がはじまりました。この改正は(1)法律による義務接種から努力義務への変更、(2)集団接種から個別接種の方向への推進、(3)対象疾患の見直し、(4)接種を受ける年齢、場所の変更、(5)予防接種による健康被害に対する救済施策の充実、など予防接種法の根幹にかかわる大幅なものです。予防接種に対する考え方が「社会防衛」から「個人防衛」へとその重心を移したので予防接種を受けるか否かは保護者の判断にまかされるところが大きくなりました。また、法改正後3ヶ月ほどの短期間で実施に移されたので医療機関や学校現場では現実はどう対応していくかとまどいもみられます。

予防接種に対してはその意義、安全性、予診のありかたなどに関する正確でわかりやすい情報が何より必要です。上田重晴教授（大阪大学微生物病研究所）は、はしか（麻疹）からAIDSまで、安全で有効な予防接種のための基礎研究と臨床研究の分野の第一線で御仕事を続けておられます。

今回は「こどもの病気と予防接種」について、最新の話題をわかりやすくお話しいたします。

【講 師】 大阪大学教授（微生物病研究所神経ウイルス分野） 上 田 重 晴 先生

【御略歴】 昭和37年3月 大阪大学医学部医学科卒

42年3月 大阪大学大学院医学研究科修了

42年4月 大阪大学助手（微生物病研究所麻疹部門）

48年7月 兵庫医科大学助教授（細菌学）

56年3月 大阪大学助教授（微生物病研究所感染病理部門）

62年4月 大阪大学教授（微生物病研究所防疫部門）

（現 神経ウイルス分野）

現在に至る

医学博士（昭和42年3月、大阪大学）

【御専攻】 神経ウイルス学

【学会活動等】 日本ウイルス学会理事、日本臨床ウイルス学会幹事、日本エイズ学会理事、および厚生省「遅発性ウイルス感染調査研究」班、厚生省「予防接種改善のための基礎的研究」班、文部省重点研究「エイズの総合的基礎研究」班、文部省重点研究「エイズ制圧に向けての基礎研究」班などの各研究班員

○ シンポジウムについて

【テーマ】 子どものライフスタイルと健康問題

【趣 旨】 現代人の疾病構造をながめてみると、それらの多くが不適切なライフスタイルに起因する様々な心身問題であることは周知の通りです。これは子どもたちにとっても決して遠い将来の問題ではなく、今そしてこれからを健やかに生きていくためにも、子どもたちの健康的なライフスタイルの形成を促進していくことが求められています。そしてそれを可能にするための学校健康教育の果たす役割は極めて重要であります。近年諸外国では、子どものライフスタイルと健康問題の関連性についての疫学研究が進められるとともに、健康的なライフスタイルの形成を目指す多くの学校健康教育プログラムが開発・実施されています。わが国でも同様の教育実践や研究が増えてきています。

今回のシンポジウムではこのような状況を背景に、これからの学校健康教育の方向性についてシンポジストの方々に提言をいただき、皆様とともに活発な議論を行いたいと思います。

なおシンポジストは次の方々です。

石 川 哲 也 先生 (文部省体育局学校健康教育課)

川 畑 徹 朗 先生 (神戸大学発達科学部)

長谷川 ちゆ子 先生 (西脇市立重春小学校)

松 浦 尊 磨 先生 (五色町健康福祉総合センター)

第42回近畿学校保健学会第1回幹事会記録

日 時 1994年10月1日(土) 2:00 P.m.～

出席者 16名(横尾、武田、金井、須藤、上延、板持、南条、石博、堀内、松岡弘、渡辺、勝野、八木、大山、松岡勇、林)

委任状提出者 2名

議 題

1. 第42回近畿学校保健学会(兵庫)の企画について勝野眞吾学会長より開催要項(案)および予算(案)についての説明があり原案通り承認された。

2. その他

役員の任期(現行2年)について若干の意見が出されたが、一応現状維持でいってはいということになった。

第42回 近畿学校保健学会演題申込み用紙

(1 題 1 葉に記入のこと。※欄は記入しないこと。下記注意書き必読のこと。)

演題名	
発表者氏名 所属 (連名で発表の場合は演者に○印、新入会員には*印)	
連絡先 住 所 ㊞ 氏 名	TEL ()
発表要旨 (100字ぐらいに) [キーワード]	
※受付番号 : _____ 原稿用紙発送 : _____ 月 _____ 日 :	演題番号 : _____ 発表時刻 : 午前 _____ 時 _____ 分 会 場 : A . B . C

申込み用紙不足の場合は、これと同じ様式のものをういて下さい。

記

1. 講演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
2. 発表者は原則として会費を前納して下さい。
3. 演題名、発表者氏名は演題申込み用紙に記入のものをプログラム、講演集にも使用します。後刻の訂正には応じられませんので十分に検討の上、変更のないようお願いします。
4. 演題申込みはこの用紙 (または同様式) に必要事項を記入し、1995年3月17日(金)までに第42回学会事務局あてにお送り下さい。折返し講演集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。

申込み先 : 〒673-14 兵庫県加東郡社町下久米942-1
 兵庫教育大学 生活・健康教育講座
 第42回近畿学校保健学会事務局